

令和6年度 中四国中学校長会 研修大会

令和6年6月20日(木)
広島国際会議場

第4分科会B

学校と地域の連携・協働による
「チーム学校」と「働き方改革」の実現

～人が育ち、人が輝き、人がつながる
協働文化をめざして～

山口県山陽小野田市校長会

1

はじめに 山陽小野田市の概要

◇位置

山口県の南西部に位置し、下関市・宇部市・美祢市と隣接。
瀬戸内海に面し、気候は温暖で、住みやすい環境。
里山、河川(厚狭川・有帆川)、干拓地に広がる田園地帯や森と湖に恵まれた公園など、海と緑に囲まれた自然環境。
市内には山陽自動車道(小野田IC、埴生IC)、山陽新幹線JR厚狭駅があり、隣接する宇部市には山口宇部空港があるなど、良好な交通アクセス。

◇人口

○人 □ : 59,560人
○世帯数 : 29,067世帯
【2023年10月現在】



はじめに 山陽小野田市の概要

◇山陽小野田市学校教育基本方針 【笑顔と元気あふれる学校の協創】

「学ぶ意欲と確かな学力の育成」

「思いやりに満ちた豊かな心の育成」

「未来を生き抜く健やかな体の育成」を目標に掲げ、教育を推進している。さらに、特色ある学校教育の推進に取り組み、学校や地域の固有の条件を生かした創意あふれる教育活動を展開し、児童生徒が生き生きと取り組むことができる魅力ある楽しい学校づくりを推進する。

人が育ち 人が輝き 人がつながる
コミュニティ・スクールの運営



3

第4分科会B

学校と地域の連携・協働による「チーム学校」と「働き方改革」の実現

～人が育ち、人が輝き、人がつながる協働文化をめざして～

本日の流れ

- 1 研究の視点
- 2 学校経営ビジョンの協創・共有
- 3 ミドル・アップダウン・マネジメント
- 4 課題解決に向けた専門能力スタッフとの連携・協働
- 5 地域の様々な機関や団体とのネットワーク化とその取組
- 6 まとめ

4

1 研究の視点

(2) 学校経営(研究)の視点 **山陽小野田市校長会として**

- ① 学校経営ビジョンの共有を図る取組
- ② ミドル・アップダウン・マネジメント
- ③ 学校課題解決に向けた専門能力スタッフとの連携・協働
- ④ 地域の様々な機関や団体とのネットワーク化とその取組

6

1 研究の視点

(1) テーマ設定の理由 **現在の教育現場の状況**

- ① 新しい時代の子どもたちに必要な資質・能力を育むためには、教育活動のさらなる充実が必要
- ② 本県は、「やまぐち型地域連携教育」の推進により、学校・保護者・地域が一体となった教育を推進
- ③ 学校や教員のみでの対応では、十分に解決することができない事案も増加



様々な諸課題に対応する専門能力スタッフや、教育活動の支援等を行う地域関係者と連携・協働する体制を強化することが課題

5

1 研究の視点

(3) 山陽小野田市の生徒に付けたい力

- ◇ ふるさとに誇りと愛着をもち、地域に貢献する力
- ◇ 協働する力
- ◇ 夢の実現に向けて主体的に取り組む力
- ◇ 自他を尊重する心
- ◇ 自己指導力の育成(生活習慣・食習慣)

7

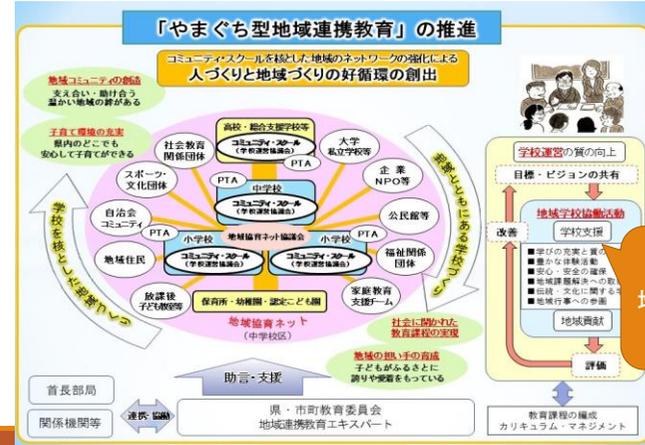
結論

学校と地域の連携・協働による「チーム学校」の実現
 ・人が育ち、人が輝き、人がつながる協働文化をめざして

校長の役割

教職員、生徒、地域が参画した学校経営ビジョンの作成
 さらに、学校経営ビジョン具現化のための、人と人とのつながり
 加えて、生徒が主体となって地域と協働する機会の創造

2 学校経営ビジョンの協創・共有



本市独自
地域教育協議会

2 学校経営ビジョンの協創・共有

(1) 組織 学校運営協議会 + 地域教育協議会

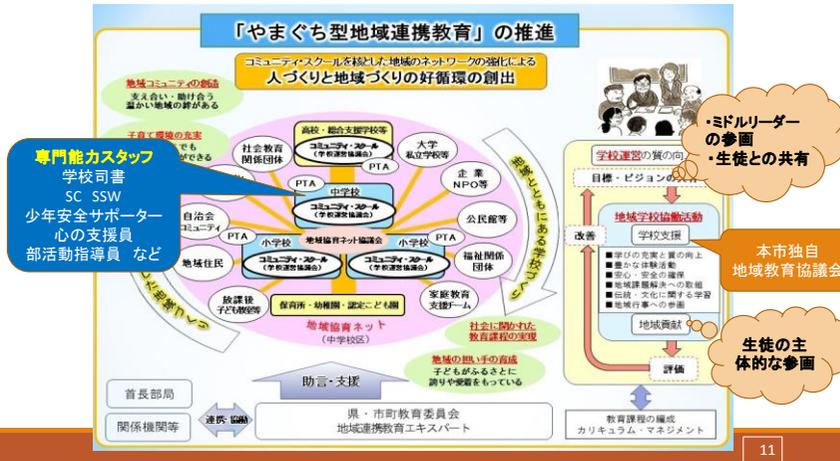
※地域教育協議会とは

平成24年に、学校・家庭・地域が一体となり、地域ぐるみで子どもを育てる体制づくりを推進することを目的として設置

具体的には、

- 地域全体で学校を支援する体制整備
- 学校が必要とする活動について地域の方々をボランティアとして派遣

2 学校経営ビジョンの協創・共有



本市独自
地域教育協議会

生徒の主体的な参画

2 学校経営ビジョンの協創・共有

(2) ビジョンの協創・共有

学校運営協議会 + 地域教育協議会 + 生徒 による熟議

学校経営ビジョンと付けたい力について、グループに分かれて熟議



付けたい力に向けて取り組んでいることを話す生徒



グループでの協議内容を発表する生徒

2 学校経営ビジョンの協創・共有

(2) ビジョンの協創・共有

中学校区の教職員・学校運営協議会による熟議

付けたい力について、グループに分かれて熟議

中学校区の教職員が一室に会しての熟議

中学校区の学校運営協議会委員と教職員が一室に会しての熟議



付けたい力に向かう学校・地域連携カリキュラムの検討



2 学校経営ビジョンの共有を図る取組

(3) ビジョンの協創・共有

高千帆中の例

学校経営ビジョンと連動した生徒会運営ビジョンの作成

学校経営ビジョン

生徒会運営ビジョン



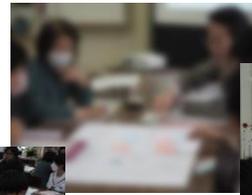
2 学校経営ビジョンの協創・共有

(3) ビジョンの協創・共有

高千帆中の例

学校経営ビジョンと連動した生徒会運営ビジョンの作成

学校運営協議会
学校経営ビジョン・生徒会運営
ビジョンの協議・承認へ



3 ミドル・アップダウン・マネジメント

(1) 学校評価に基づいた組織的展開とミドル層の育成

学校評価書
(抜粋)

経営ビジョンや
昨年度の評価から
の重点目標
(戦略的目標)

重点目標達成に向けた方策(戦術的目標)と評価基準
各分掌主任を中心に
策定

3 ミドル・アップダウン・マネジメント

学校評価書
(抜粋)

ミドル・マネジメントの評価
戦術的な省察

トップ・マネジメントの評価
戦略的な省察

関係者評価

次年度の
改善策

3 ミドル・アップダウン・マネジメント

(2) 学校運営上の自己の役割を意識した自己目標シートの作成

【自己目標シート】

所属	() 氏名	令和6年度用 自己目標シート(教職員)													
所属	職	年齢	職	年齢	職	年齢	職	年齢	職	年齢	職	年齢			
本校で本年度重点を置いて取り組む目標															
校務分掌と関連した自分の役割															
職務分掌	本学	年	月	日	記入	達成状況()	年	月	日	記入	達成状況()	年	月	日	記入
学															
教															
導															
生															
徒															
の															
姿															
を															
イ															
メ															
ー															
ジ															
ン															
グ															
を															
設															
定															
目															
標															
を															
達															
成															
す															
る															
た															
め															
に															
自															
分															
が															
実															
践															
す															
る															
内															
容															
や															
研															
修															

4 課題解決に向けた専門能力スタッフとの連携・協働

(1) 学力課題に迫る学校司書の参画

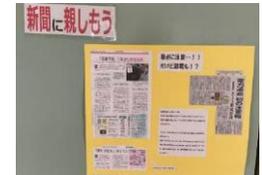
本市では、すべての小学校へ学校司書を配置。校区内にある中学校と兼務



学校司書が、全国SLA学校図書館スーパーバイザーを招聘して行った「読書会」や「ライぶらり」



ビブリオバトル
※誰でも開催できる本の紹介コミュニケーションゲーム



学校司書による「新聞の活用」

4 課題解決に向けた専門能力スタッフとの連携・協働

(1) 生徒指導・教育相談の専門家との連携のための組織マネジメント

「心の支援室」スタッフ(心理士、元教員 等)

子育て総合支援センター(スマイルキッズ)宇部児童相談所等との連携

○小野田地区・山陽地区にそれぞれ
「ふれあい相談室」
(適応指導教室)を設置

○児童生徒・保護者との教育相談、来室や
訪問による教育活動を実施

○教育相談主担当者主導による「定例
報告会」での丁寧な情報交換

○特別支援教育との境目のない指導・支援

<連携の効果等>

→小野田地区・山陽地区にそれぞれ設置して
いることで、児童生徒が通いやすく、小中
の連携が図りやすい。

→保護者との教育相談において、段階的な
登校支援や進路相談につなげられる。

→SCを含めた情報交換の方法や内容を工夫
し、きめ細やかな指導・支援を行うことが
できる。

→特別支援学級や発達障害の傾向のある
児童生徒への境目のない支援ができる。

20

4 課題解決に向けた専門能力スタッフとの連携・協働

(2) 生徒指導・教育相談の専門家との連携による成果

少年安全サポーター (元警察官)

要保護児童対策地域協議会等、関係機関の連携による支援の充実

○学校安全の推進への協力(防犯
教室、交通安全教室、自転車教室、
避難訓練の指導 等)

○学校いじめ防止対策委員会等へ
の参画・学校訪問、見守り活動

○警察との連携

<連携の効果等>

→安全教育において、教員とは違う視点
での指導が受けられる。

→「学校いじめ防止対策委員会」の協議
内容を踏まえた休憩時間の学校訪問、
見守り活動により、生徒指導上の抑止
力になる。

→触法行為に関わる事案やSNS上の生徒
指導案件等について、教員の知識や経
験が浅い分野について助言がもらえる。

21

4 課題解決に向けた専門能力スタッフとの連携・協働

(3) スクールカウンセラーによる教育講演会や授業など

SCによる教育講演会



演題「こころがラクになるヒント」

- ◇いじめ防止対策協議会
- ◇グローイングハートプロジェクト
- ◇児童生徒への面談
- ◇保護者への面談

22

5 地域の様々な機関や団体とのネットワーク化とその取組

(1) 山口東京理科大学と連携した理科教育の推進



減圧装置による実験

23

5 地域の様々な機関や団体とのネットワーク化とその取組

(2) 人権擁護委員による教育講演会や授業

市高齢福祉課による出前授業



「認知症サポーター養成講座」

人権擁護委員による授業



リスペクト・アザースII

24

5 地域の様々な機関や団体とのネットワーク化とその取組

(3) 競技かるたを通じた小学、中学、高校連携



競技かるたを説明する小野田高校生

小野田高校生一人と小学生、中学生が
チームになって対戦

25

5 地域の様々な機関や団体とのネットワーク化とその取組

(4) 地域教育協議会との連携した取組(学校支援)

有識者による面接指導

地域活動推進委員が面接にあたる
講師を毎年20名程度依頼し、11月
3年生を対象に放課後、4～5日間
実施

専門家や団体による土曜教室や学習ボランティア



生け花教室



太極拳教室



料理教室



中学校家庭科着付け体験授業

26

5 地域の様々な機関や団体とのネットワーク化とその取組

(5) 小中学校と地域が一体となった花いっぱい運動



小学生による播種作業



中学生による配布作業

厚陽小中学校から市内全域の学校・団体へ社会貢献

27

5 地域の様々な機関や団体とのネットワーク化とその取組

(6) 地域連携の具体

小野田中 ここ花(こころに花々を～学校を花でいっぱいにして～)運動



地域とともにつくる学校花壇

地域の方々や保護者の皆さんと特別支援学級の生徒で、たくさんの一輪挿しを生けて校内に飾ります

地域の方々にアドバイスをいただいたり、整備の手助けをしていただきながら整備

平成29年度から最優秀賞4回、優秀賞1回受賞

28

5 地域の様々な機関や団体とのネットワーク化とその取組

(6) 地域連携の具体

増生小中学校 農園(ハーブねっと農園)を使ったキャリア教育



農家やJAの方と田植えから稲刈りまでを小中で

コメの計量をしてラベルを張って商品化

生産から加工、販売を子どもたち自身の手で行い、6次産業化を経験することによって、望ましい職業観や勤労観を育むキャリア教育を小中一貫で

地域の文化祭で販売

29

5 地域の様々な機関や団体とのネットワーク化とその取組

(6) 地域連携の具体

地域貢献活動を地域と共に



今春閉校した津布田小の花壇整備を地域の方と

全校生徒で海岸清掃活動

国道沿いの壁画制作

地域行事に運営スタッフとして参画

30

5 地域の様々な機関や団体とのネットワーク化とその取組

(7) 市議会と連携した取組

① 中学生による市議会の傍聴・視聴の取組

6月市議会一般質問の市議会場での傍聴



31

5 地域の様々な機関や団体とのネットワーク化とその取組

(7) 市ふるさとづくり協議会との連携

中学生市議会の開催

市内全中学校の代表
生徒による一般質問



住みよいまちづくりにつ
いて提案



市職員からの回答を真剣
に聞く中学生議員

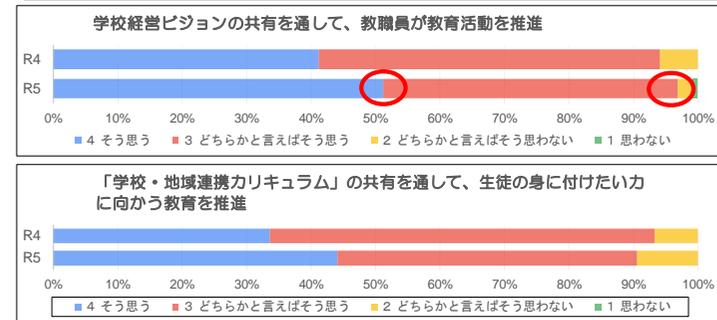


中学生議員からの提案に回答する
市職員

6 まとめ

(1) 教職員の意識調査より

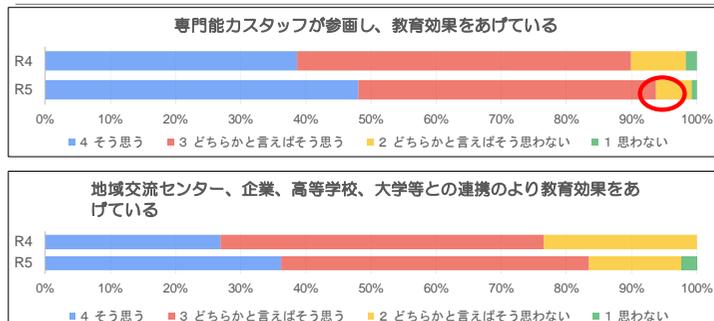
※全教職員(校長、教頭、教諭、養護教諭、事務職員等)



6 まとめ

(1) 教職員の意識調査より

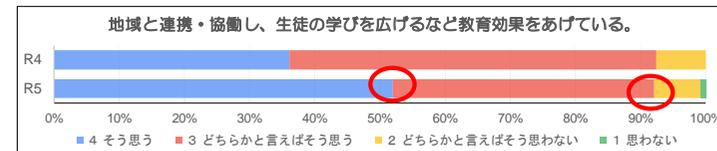
※全教職員(校長、教頭、教諭、養護教諭、事務職員等)



6 まとめ

(1) 教職員の意識調査より

※全教職員(校長、教頭、教諭、養護教諭、事務職員等)



6 まとめ

(2) 成果と課題 ①竜王中 生徒会長

令和5年6月18日放送「はつらつ山口っ子」より



生徒会執行部の皆さん
地域学校協働活動推進員と地域資源の活用について協議をする生徒会執行部

36

6 まとめ

(2) 成果と課題 ②令和4年度県少年の主張コンクール 最優秀

「未来へのバトンは私達に」 小野田中学校 2年 河本芽郁さん

ここは私の町だ。みんなの町だ。私達を日々支えてくださり、見守ってくださる方々に、私達は未来を託されているのだ。

大切なのは、中途半端にせず、一生懸命することだ。まずは、地域のことを知ることから始めてみてはどうだろうか。学校運営協議会に参加しての気づきや自分の思いを忘れずに、これからも地域に貢献していきたい。

私たちの手で、私たちに託されたバトンを未来へとつなげていこうと強く思う。

37

(2) 山陽小野田市生徒の経年変化

	H30山口 県肯定率	R3山陽小野 田市肯定率	R4山陽小野 田市肯定率	R5山陽小野 田市肯定率
地域の出来事への関心	61%	74.4%	72.7%	65.1%
住んでいる地域行事への参加	53%	65.4%	66.4%	57.2%
地域のボランティア活動への参加	74%	81.9%	75.2%	73.9%
大人になったら住んでいる地域のために何かをしたいか	61%	71.8%	71.0%	57.2%
将来への夢や目標	73%	81.9%	78.4%	78.2%
難しいことへの挑戦	67%	82.2%	76.1%	69.6%
自分には良いところがある	68%	85.0%	83.3%	83.0%
自ら進んで学習	59%	75.1%	71.4%	66.8%
地域の大人を見て頑張ろうと思う	73%	82.4%	82.1%	76.7%
今住んでいる地域に住みたいか	53%	59.3%	59.2%	48.6%

※県と比較 県を上回っているが80%未満 県を上回り80%以上

38

6 まとめ

学校と地域の連携・協働による「チーム学校」の実現

人が育ち、人が輝き、人がつながる協働文化をめざして

成果

- ① 学校経営ビジョンの協創・共有によるチームづくり
- ② 若手、ミドルリーダーが学校運営に参画する仕組みづくり
- ③ 生徒が学校運営に携わることによる当事者意識の高揚
- ④ 生徒が主体的に生徒会活動や地域貢献活動への取り組むことによる自己肯定感の高揚
- ⑤ 生徒の学びの場の広がりによる社会との接続

39

6 まとめ

学校と地域の連携・協働による「チーム学校」の実現 人が育ち、人が輝き、人がつながる協働文化をめざして

課題

- ① 将来への夢や目標をもち、主体的に活動する生徒の育成を視点とした取組
- ② チーム学校の意義を理解し、当事者意識をもって学校運営に携わる教職員のさらなる醸成
- ③ 学校課題の解決へつながる専門能力スタッフとのさらなる連携
- ④ 様々な機関や団体とのネットワークの継続

40

働き方改革の推進

山陽小野田市中学校における時間外在校等時間の推移



41

結論

学校と地域の連携・協働による「チーム学校」の実現 人が育ち、人が輝き、人がつながる協働文化をめざして

校長の役割

教職員、生徒、地域が参画した学校経営ビジョンの作成
さらに、学校経営ビジョン具現化のための、人と人とのつながり
加えて、生徒が主体となって地域と協働する機会の創造

ご清聴ありがとうございました。

42